

「生命のがん教育」を実施しました

(平成 26 年度 3 学期分)

平成 26 年度 3 学期は 25 校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20 分)
- (2) がん経験者のお話 (20 分)

◆授業風景



◎小学校 (10 校)

| 実施日 | 実施校 | 学年 | 担当講師* |
|-----------|---------------|---------|---|
| 1 月 1 6 日 | 亀岡市立東別院小学校 | 4、5、6 年 | 京都桂病院 院長補佐 (小児科部長) 若園 吉裕 |
| 1 月 2 6 日 | 井手町立井手小学校 | 6 年 | 京都府健康福祉部健康対策課医務主幹 堅田 和弘 |
| 2 月 5 日 | 綾部市立東八田小学校 | 6 年 | 独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター 統括診療部長 国澤 正寛 |
| 2 月 1 2 日 | 京田辺市立田辺小学校 | 6 年 | 京都府山城北保健所 所長 和田 行雄 |
| 2 月 1 4 日 | 井手町立多賀小学校 | 6 年 | 京都山城総合医療センター 外科部長 中田 雅支 |
| 2 月 2 0 日 | 八幡市立南山小学校 | 6 年 | 京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘 |
| 2 月 2 5 日 | 木津川市立相楽小学校 | 6 年 | 京都第二赤十字病院 外科医師 坂木 桃子 |
| 2 月 2 5 日 | 京都教育大学附属桃山小学校 | 6 年 | 国立病院機構京都医療センター 腫瘍内科診療科長・外来化学療法センター長 安井 久晃 |
| 3 月 1 0 日 | 宇治田原町立宇治田原小学校 | 6 年 | 京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘 |
| 3 月 1 8 日 | 亀岡市立城西小学校 | 6 年 | 京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘 |

< 児童の感想 >

- ◇ 「がん」は生活習慣病にもなることが今日初めて分かったので、生活に気をつけたいと思います。
- ◇ 早く「がん」を見つけることが大切なことがわかりました。検診に行くことが大切なこともわかりました。がん体験のお話を聞いて、今、私たちが暮らしているのはとてもすごいことだと思いました。これからも命を大切にしていきたいです。
- ◇ がんなんてまだまだ先の話だし、と思っていましたが、30 歳でもがんになっている人がいると知り、いつお父さんとお母さんがなるのかわからないので気をつけようと思いました。
- ◇ 一人一人自分にはやらなければいけない使命があるんだと思いました。
- ◇ 私は将来、タバコは吸いたくありません。その理由は「がん」になるのがいやだからです。

- ◇ とても身近な病気であることがわかりました。私もなるかもしれないので、日頃の生活リズムをもう少し見直そうと思いました。大人になったらがん検診に絶対行きます。
- ◇ 2人に1人が「がん」になることを知りました。生活習慣が、「がん」予防に大きく関係しているので正しい生活をして、予防していかなければと思いました。また早期発見が大切であることがわかったので、何か悪いところがあれば、すぐに病院へ行くようにします。
- ◇ 家族の喫煙をやめさせようと思いました。
- ◇ 「がん」を実際に体験した人の話は、私の心にズシンとくるものがありました。私の回りでも「がん」を発病された人がいます。周りの人や自分が悲しい思いをしないように予防を呼びかけたいと思います。
- ◇ あまり「がん」について考える機会がないので、とても勉強になりました。実際に「がん」を体験された方の話を聞いて、これから自分自身の身体のことについて注意していこうと思いました。
- ◇ 早期発見がとても大切だと改めて感じました。知るのが怖いから放置していると大変なことになってしまうし、後悔することになるので、今日、学んだことを家族に伝えようと思いました。
- ◇ 「がん」の経験者の方が「自分のためにだけ生きるのではなく、誰かと喜び合い、その喜びを自分も感じられる人になってほしい。」と言っていたのが、とても心に響きました。私も人生の中でたくさんの人と出会い、その出会いを大切に人と関わっていきたいです。

◎中学校（13校）

| 実施日 | 実施校 | 学年 | 担当講師* |
|-------|----------------|----|-----------------------------------|
| 1月14日 | 京都聖母学院中学校 | 2年 | 京都大学医学部附属病院 遺伝子診療部 特定准教授 三宅 秀彦 |
| 2月3日 | 東山中学校 | 2年 | 京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘 |
| 2月6日 | 宮津市立栗田中学校 | 全校 | 京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘 |
| 2月18日 | 相楽東部広域連合立和束中学校 | 3年 | 京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘 |
| 2月19日 | 京田辺市立田辺中学校 | 2年 | 京都大学医学部附属病院 遺伝子診療部 特定准教授 三宅 秀彦 |
| 2月19日 | 京都精華女子中学校 | 1年 | 京都府立医科大学 准教授 安居 幸一郎 |
| 3月2日 | 京都市立北野中学校 | 1年 | 京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘 |
| 3月5日 | 木津川市立山城中学校 | 3年 | 京都府山城南保健所 所長 飯田 貴弥 |
| 3月9日 | 京都市立洛水中学校 | 3年 | 京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘 |
| 3月10日 | 木津川市立泉川中学校 | 3年 | 京都桂病院 副院長（消化器センター所長） 国立 裕之 |
| 3月17日 | 精華町立精華西中学校 | 1年 | 京都市立病院 総合外科（消化器外科・小児外科） 医長 久保田 恵子 |
| 3月17日 | 福知山市立日新中学校 | 2年 | 舞鶴医療センター 小児科専門医 坂本 謙一 |
| 3月20日 | 八幡市立男山第三中学校 | 2年 | 第二岡本総合病院 副院長 清水 義博 |

<生徒の感想>

- ◇ 授業中に多く出てきた言葉の中に「生活習慣」がありました。この授業の中で私の意識が変わったのはそこだと思います。正直、たかが運動、休養、食事だと思っていました。しかし実体験のある話を聞いて、今の生活が将来の生死に関わるとなるとものすごく重要なことが理解できました。今は少しでも良くしていきたいと思います。
- ◇ 両親がタバコを吸っています。自分は問題ないと思っていましたが、その煙にも「がん」の原因があることを知って驚きました。
- ◇ 「がん」は二人に一人がなるということを聞いてとても驚きました。自分は生活習慣とかもしっかりできているので「がん」にはならないと思っていましたが間違いでした。でも、もしなったとしても早期発見で治療すれば大丈夫であることを聞いて安心しました。

- ◇ 一度しか生きられない自分の命を大切にするために、今から始められることをしていくべきだと思いました。命は一度きりで一つしかないのです、もっと大切にしたいと思います。
- ◇ 二人に一人が「がん」になると聞いて驚きました。「がん」に100%ならない方法はないですが、日頃から生活習慣を正しくしていこうと思いました。
- ◇ 自分は健康だから大丈夫だと思うのではなく、日頃から気を付けることが大切だと思いました。また、私は睡眠がとれていないので、早く寝るようにしたいです。
- ◇ 「がん」は本当に身近な病気であることを改めて感じた時間でした。身内の人が「がん」で亡くなっている怖いイメージや治りにくいイメージがありました。でも早く発見すれば大丈夫だと知り、少し安心したのと、検診にはしっかり行こうと思いました。命の大切さを改めて知れた良い機会でした。
- ◇ 命の大切さについて学ぶことができました。また、その命を守るために大切にするためには具体的にどのようなことをすればいいのかを学べたので、これからの生活に生かしていきたいと思います。
- ◇ 授業を通して「がん検診」の大切さなどを知りました。この貴重な時間を今後の生活にどう活かしていくかも問われていると感じました。

◎高等学校（2校）

| 実施日 | 実施校 | 学年 | 担当講師* |
|-------|-------------|----|--------------------------|
| 1月14日 | 京都府立久美浜高等学校 | 3年 | 京都府丹後保健所 所長 高木 智久 |
| 2月6日 | 京都府立海洋高等学校 | 3年 | 京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 堅田 和弘 |

<生徒の感想>

- ◇ いつどこで何が自分の身におこり、何があるのかわからないので、常に生きていることに感謝の気持ちを持っておくことが大切だと思いました。自分が生きているのは、まわりの人たちのおかげであり、感謝したく思います。
- ◇ 病気という観点から生命を見つめ直すことができよかったです。
- ◇ 2人に1人が「がん」になることを知りました。生活習慣が、「がん」予防に大きく関係しているので正しい生活をして、予防していかなければと思いました。また早期発見が大切であることがわかったので、何か悪いところがあれば、すぐに病院へ行くようにします。
- ◇ 家族の喫煙をやめさせようと思いました。
- ◇ 「がん」を実際に体験した人の話は、私の心にズシンとくるものがありました。私の回りでも「がん」を発病された人がいます。周りの人や自分が悲しい思いをしないように予防を呼びかけたいと思います。
- ◇ あまり「がん」について考える機会がないので、とても勉強になりました。実際に「がん」を体験された方の話を聞いて、これから自分自身の身体のことについて注意していこうと思いました。
- ◇ 早期発見がとても大切だと改めて感じました。知るのが怖いから放置していると大変なことになってしまうし、後悔することになるので、今日、学んだことを家族に伝えようと思いました。
- ◇ 「がん」の経験者の方が「自分のためにだけ生きるのではなく、誰かと喜び合い、その喜びを自分も感じられる人になってほしい。」と言っていたのが、とても心に響きました。私も人生の中でたくさんの人と出会い、その出会いを大切に人に関わっていきたいです。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL : 075-414-4766 電子メール : kentai@pref.kyoto.lg.jp